

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 1 区分  
 【発行日】平成 29 年 4 月 27 日 (2017.4.27)

【公開番号】特開 2016-194449 (P2016-194449A)  
 【公開日】平成 28 年 11 月 17 日 (2016.11.17)  
 【年通号数】公開・登録公報 2016-064  
 【出願番号】特願 2015-74277 (P2015-74277)  
 【国際特許分類】

G 0 1 N 21/27 (2006.01)

【 F I 】

G 0 1 N 21/27 A

【手続補正書】  
 【提出日】平成 29 年 3 月 22 日 (2017.3.22)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 4 7  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【 0 0 4 7 】

図 6 ( a ) に示すものはダイクロイックミラーを用いる方式である。これはダイクロイックミラー 2 2 c ' により特定の波長の光を反射し、透過した残りの光について、さらに別のダイクロイックミラー 2 2 a ' により別の特定の波長の光を反射して分光し、撮像素子 2 3 a、2 3 b、2 3 c を三つ並列にして読み出す方式である。ここでは、ダイクロイックミラー 2 2 a ' が光学フィルタ 2 2 a、2 2 b に相当し、ダイクロイックミラー 2 2 c ' が光学フィルタ 2 2 c に相当する。撮影レンズ 2 1 から入射する光はダイクロイックミラー 2 2 c ' により分光感度 S 3 に従う光が反射され、残りの光は透過する。ダイクロイックミラー 2 2 c ' により反射された光を反射鏡 2 6 により反射して撮像素子 2 3 c により分光感度 S 3 を得る。一方、ダイクロイックミラー 2 2 c ' を透過した光は、ダイクロイックミラー 2 2 a ' において、分光感度 S 1 に従う光が反射され、残りの分光感度 S 2 に従う光は透過する。ダイクロイックミラー 2 2 a ' を透過した光を撮像素子 2 3 b により撮像して分光感度 S 2 を得る。ダイクロイックミラー 2 2 a ' により反射された光を反射鏡 2 9 により反射して撮像素子 2 3 a により分光感度 S 1 を得る。ダイクロイックミラーに代えて同様な特性を有するダイクロイックプリズムを用いて三つに分光し、それぞれの光が透過する位置に撮像素子 2 3 a、2 3 b、2 3 c を接着することとしてもよい。

【手続補正 2】  
 【補正対象書類名】図面  
 【補正対象項目名】図 6  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】

【図 6】

